

2022年に新設された 断熱の世界最高水準

「断熱等級7」を取得

断熱等級が高い住宅の良いポイント

- 快適な室内環境になる
- 健康改善が期待できる
- ヒートショックのリスク軽減につながる
- 節電・節約できる
- 新築・リフォーム費用について補助金を受けられる可能性がある

今後の新築は断熱等級6以上を検討しましょう

2025年以降、断熱等級3以下の新築は建てられなくなり、2022年3月まで最高等級だった等級4が実質の最低等級となることが予定されています。そこで、断熱等級4を目指せばよいかといえそうではありません。

2030年にはさらに省エネ基準の水準が引き上げられ、断熱等級5が最低等級になると見込まれています。

家族の健康維持や、毎日の快適性に加え、地球温暖化に伴う猛暑日の増加、将来的な建物の資産価値も考えると、今後、新築物件を建てる場合は、等級6以上を目指した方がよいといえます。

住宅性能表示制度 断熱等性能等級

